

暮らしの？

kurashi no hatena

ハテナ

先月紹介した「仕切りのない部屋」の持ち主Tさんが、自分たちのマンションの別の階に空き部屋を見つけ、奈良県内の戸建てに一人で暮らしていた70代の母親を招き寄せたのが、この部屋だ。

「30年住み慣れた家でしたが、父

名建築参考に人が集う空間を

親が10年前に亡くなり一人暮らしにはもてあましていた様子でした。そこで母がマンションでも心地良く住めるようにできないかと考えました」とTさん。名建築家が残したさまざまな住居を見て歩き、リノベーションの参考にした。

前川國男 (1905—1986)

年)設計の晴海高層アパート(東京)からは「風通しのよき」へのこだわり。和室の空間を演出するかもいを残しながら、その上にあるべき壁をはめ込まず、風が抜けるようにした。

京都・大山崎にある藤井厚二(1

888—1938年)の実験住宅

「聴竹居」からは、洋室のテーブル席に座った人と、隣あった和室に正座で座った人の視線が、ちょうど合うように和室の床の高さを持つてくる工夫を拝借した。

Tさんはこの和室で母親がたてるお茶を飲みたくて、妻や友人を連れ

リノベしました



風が通るかもいや、オリジナルで調査したフローリングの色目、床が高い和室など工夫がいっぱい

大阪府茨木市 築40年

て、ひよいと訪れる。実は母親がここに引っ越すまでは、実家に帰るのは年に数回だったというが、今では週に数回の頻度で顔を合わせる。

Tさんの母親も「まかせきりにしました。が、とっても快適です。息子夫婦たちが気軽に訪ねてきてくれるのもうれしいですね」と話す。この一室も息子夫婦の住まいと同様、壁やドアによる仕切りがない。「部屋全体が見渡せるので、汚れも目について自然ときっちりします。余分なものも置かない生活で、すっきり暮らしています」と話している。

昭和48年築のマンション。専有面積は約66平方メートル。物件購入金額約1350万円。リノベーション費用約940万円。

Arts&Crafts

大阪市西区京町堀1の13の24、☎06・6443・1350

「リノベーション(リノベ)」とは、既存の建物を大規模改修し、価値を高めること